

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-218892
(P2002-218892A)

(43) 公開日 平成14年8月6日 (2002.8.6)

(51) Int.Cl.⁷
A 0 1 K 97/18

識別記号

F I
A 0 1 K 97/18

データベース* (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2001-16073 (P2001-16073)

(22) 出願日 平成13年1月24日 (2001.1.24)

(71) 出願人 501029032

高野 智佳

神奈川県川崎市幸区小倉1-1-G-1805

(71) 出願人 501029054

遠藤 光隆

宮城県栗原郡金成町字上町東裏27-1

(72) 発明者 遠藤 光隆

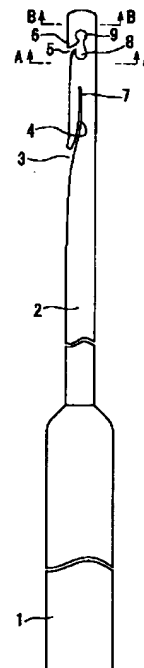
宮城県栗原郡金成町字上町東裏27-1

(54) 【発明の名称】 釣針外し

(57) 【要約】

【課題】 釣り人が、釣った魚のダメージを最小限にし、楽な姿勢で、容易かつ安全に釣り針を外すことができる針外しを提供する。

【解決手段】 針外しの棒体先端側面に切り込みを形成し、その開口部の先端側棒体断面寸法を手元側棒体断面寸法と異ならせることによって開口部の視認性を高め、握り部を含む針外し全体の全長を従来のものより延長可能とすることで、釣り人が、釣った魚のダメージを最小限にし、楽な姿勢で、容易かつ安全に釣り針を外すことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】棒体先端側面に切り込みを形成し、その開口部の先端側棒体断面寸法を手元側棒体断面寸法と異ならせることによって開口部の視認性を高めたことを特徴とした釣り用針外し。

【請求項2】先端開口部の視認性を高めることによって握り部を含む全長を拳縦寸の2倍以上に延長可能としたことを特徴とした請求項1記載の釣り用針外し。

【請求項3】魚の喉奥部に刺さった針を押し込み離脱させるための押し込み孔を棒体先端側面の切り込みに備えたことを特徴とする請求項1及び請求項2記載の釣り用針外し。

【請求項4】誘導面を有する折り返し切り込み部を棒体側面に有することを特徴とした請求項1乃至請求項3記載の釣り用針外し。

【請求項5】握り部を嗜好によって変更可能とした請求項1乃至請求項4記載の釣り用針外しの棒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】釣り用針外しに関する。

【0002】

【従来の技術】従来の針外しには、図1に示す様な先端が螺旋状のもの等がある。その中でも、魚を傷つけず簡易に針を外すことができることから図2に示す様な先端側面に切り込みの入った針外しが広く釣り人に愛用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の切り込み型針外しは、同一径円柱の棒状の先端側面に切り込みを入れた形状であるため、開口部の先端側の棒体断面と手元側の棒体断面は同一寸法である。また、手元側断面が円で先端側断面が長方形に近い形状といった様に形状が異なるものもあるが、断面の最大径に大きな差異はない。このようなことから、開口部の視認性は、棒体の切り込み開口部への視線方向と棒体縦方向との交わり角度が小さくなると極めて低くなり、手を伸ばした状態で利用することは困難であった。また、同様の理由から針外しの全長を長くすることができず、体の不自由な方や体の柔軟性が鈍っているお年寄りにとっても不便であった。本発明が解決すべき課題は、針外しの先端開口部の視認性を高め、握り部を含む針外しの全長を延長することにある。加えて、多様な針の刺さり方に対応し、更には、嗜好に応じた握り部を提供することにある。ここで、請求項1乃至請求項5に記載の発明の目的は、魚のダメージを最小限にし、楽な姿勢で、容易かつ安全に釣り針を外し、釣りを楽しむことにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記目的を達成するためのものである。

（請求項1）針外しの棒体先端側面に切り込みを形成

し、その開口部の先端側棒体断面寸法を手元側棒体断面寸法と異ならせることによって開口部の視認性を高めたことを特徴とする。

（用語解説）「針外し」とは、釣り人が、釣った魚から釣り針を外すための道具をいい、先端が折り返しとなっているもの（実用新案登録第3020104号等）、先端が螺旋状のもの（特開平7-50969等）、先端が二股状のもの（特開平8-116852等）がある。

「棒体」とは、針外しにおいて、握り部とは別に、本来的な機能を果たす部分を有する棒状のものをいい、一般的に金属で形成される。金属には、対腐食性に優れるステンレスや加工容易なアルミニウムが適しているが、他の金属やプラスチック、竹などでも機能は十分に果たす。「棒体先端側面」とは、棒体において、握り部と反対側であって、棒体の縦方向に対する側面をいい、一般的に平面ではなく湾曲している。

（請求項2）針外しの先端開口部の視認性を高めることによって握り部を含む全長を拳縦寸の2倍以上に延長可能としたことを特徴とする。

（用語解説）「握り部」とは、釣り人が針外しを使用する際に手で握る部分いい、一般的には、プラスチックや木で形成される。なお、棒体と同一の材料であってもよい。また、棒体の本来的な機能を果たす部分と反対側を加工し握りやすくしてもよい。「全長」は、従来の針外しでは、工具のドライバーサイズ（拳2倍相当）のものが殆どであった。特に従来市販の切り込み型針外しでは、その先端開口部の視認性の低さから大幅な延長は困難であり、無理な姿勢での利用を強いられていた。本発明では、先端開口部の視認性を高めることによって、握り部を含む針外しの全長を拳縦寸の2倍以上に延長可能である。

（請求項3）針外しの棒体先端側面の切り込みに、魚の喉奥部に刺さった針を押し込み離脱させるための押し込み孔を備えたことを特徴とする。

（用語解説）「針を押し込み離脱させる」のは、魚のダメージを最小限にし、容易に針を外すためである。すなわち、魚に飲み込まれた針は、引き上げる際に、針の先端が釣竿の方向に向き、そのまま針外しに引っ掛け外したのでは、魚にダメージを与えると伴に、容易に外すことができない。そのため、魚の喉奥部に刺さった針を外すためには、釣竿とは逆の方向に一旦押し込み魚から離脱させる必要がある。なお、針の湾曲部分を適切に捕捉できれば、釣り上げた魚自身の慣性を利用し逆方向に針を押し込むことは可能である。

（請求項4）針外しの棒体側面に誘導面を有する折り返し切り込み部を有することを特徴とする。

（用語解説）「棒体側面」とは、棒体の縦方向に対する側面をいい、一般的に平面ではなく円柱のごとく湾曲している。なお、棒体の中心軸から見て、先端切り込み開口部と同じ側面である必要はない。「誘導面」とは、釣

り糸から折り返し切り込み部に針を誘導するための面をいう。「折り返し切り込み部」は、魚の口元に刺さった針を簡易的に外すのに便利で、お年寄りや子供でも使用することができる。針外しは、貸し借りが行われるため、複数人で釣りを楽しむ際に簡易的に針を外す機能を有することは極めて有効である。従来の折り返し型の針外しは、先端に折り返し部を有していたが、本発明では、先端部分に高機能を有しているため、棒体の先端に有する必要はない。特に、魚の口元に刺さった針を外すのであれば、先端に有する場合と比べて使用上の不便はない。

（請求項5）針外しの握り部を嗜好によって変更可能な棒体とする。

（用語解説）「握り部の嗜好」は、竹細工や自然の木の形状をデザインとして取り入れたものなど多彩である。従来の針外しの握り部は、工具のドライバーのごとく機能的ではあるが、趣味を反映させる余地はなかった。特に、キャッチアンドリリースとして釣りを楽しむ者は、釣りを趣味としているため、単に釣竿のみならず他の釣具にも自己の嗜好を取り入れたいと考えるのが自然である。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。なお、図1は従来市販の螺旋型針外しの斜視図、図2は従来市販の切り込み型針外しの正面図、図3は本発明の針外しの正面図、図4は本発明の針外しの斜視図、図5は切り込み開口部の視認性を高めたことについての説明図、図6は握り部を嗜好によって変更可能なことを表した説明図である。図3及び図4の棒体の先端側面に切り込みを入れる際、先端開口部5の視認性をたかめるため、B断面の径をA断面の径より大きくする。これにより図5の様に先端開口誘導部6が握り部1方向から見て目立ち、棒体2及び握り部1を含む針外しの全長を従来のものに比べ長くすることができる。具体的には、拳縦寸の2倍以上に延長可能で、3倍以上でも視認性を十分確保できる。先端切り込み孔9は、針が魚の口の内部飲み込まれた場合でも、先端部を口の内部に挿入し、針の胴部を先端切り込み孔9に誘導し針の湾曲に沿って回すことで針を外すことができる。その他押し込み孔8を使用する際の糸の誘導にも活用できる。針の一部が口の外にあるような浅い位置に引っかかっている場合にも利用可能である。また、従来市販の切り込み型針外しにある先端切り込み孔9に加え、先端押し込み孔8を構成することにより、魚が針の飲み込んだ場合に針を捕捉し一旦押し込み、その後先端切り込み孔9で針を捕捉し直す等によって針を簡単に外すことが

できる。先端押し込み孔8は、針が目視できない場合や、深い位置に刺さった場合でも、糸を利用した誘導により針を捕捉し押し込むことで針を外すことができる。更に、誘導面4を有する折り返し切り込み部7を棒体側面に構成することで、魚の口元に刺さった針を簡易的に外すことができる。折り返し開口誘導面4等を利用し、糸から針を折り返し切り込み部7に誘導し捕捉し回転させることで針を簡単に外すことができる。折り返し開口部3は先端開口部5と異なる側にあってもよい。たとえば、握り部の断面方向に特に方向性を持たない場合、折り返し開口部3は先端開口部5と異なる側にあった方が片方の機能を確実に利用でき便利な場合もある。なお、本発明の構造はアルミニウム製の棒体を切削加工したり、強化プラスチックをプレス加工する等によって簡単に形成することができる。また、棒体2の握り部1との接合部分を工具のドライバーの棒体で用いられている握り部側の形状等にすることで、図6に表す様に握り部を竹細工や自然の木の形状をデザインとして取り入れたもの等嗜好に合わせて変更できる。

【0006】

【発明の効果】本発明の針外しによれば、先端開口部の視認性が高められ、握り部を含む針外し全体の全長を従来のものより延長することができ、釣り人が、楽な姿勢で、容易に釣り針を外すことができることが確認できた。

【図面の簡単な説明】

【図1】従来市販の螺旋型針外しを示す斜視図である。

【図2】従来市販の切り込み型針外しを示す正面図である。

【図3】本発明の針外しを示す正面図である。

【図4】本発明の針外しを示す斜視図である。

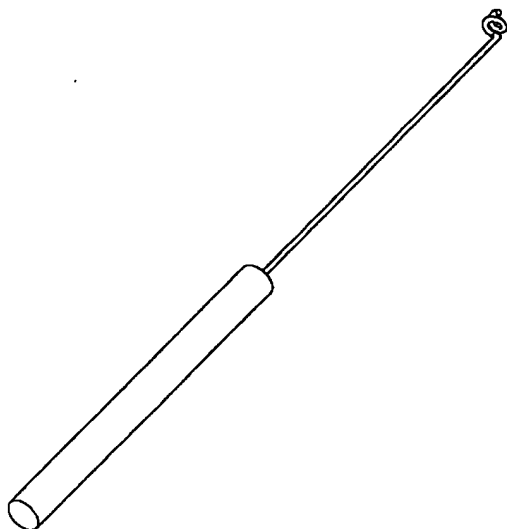
【図5】本発明の切り込み開口部の視認性を高めたことについての説明図である。

【図6】本発明の握り部を嗜好によって変更可能なことを表した説明図である。

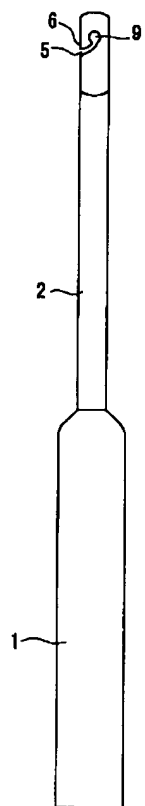
【符号の説明】

- 1 握り部
- 2 棒体
- 3 折り返し開口部
- 4 折り返し開口誘導面
- 5 先端開口部
- 6 先端開口誘導部
- 7 折り返し切り込み部
- 8 先端押し込み孔
- 9 先端切り込み孔

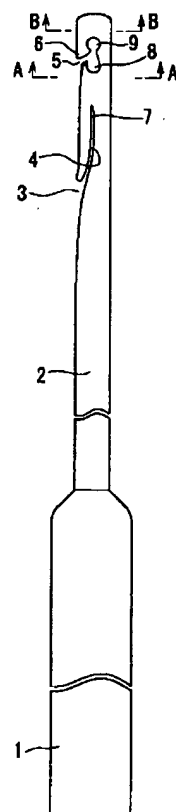
【図1】



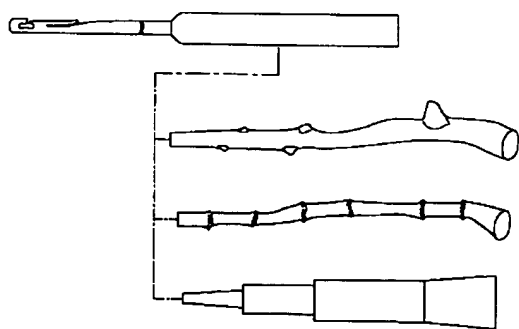
【図2】



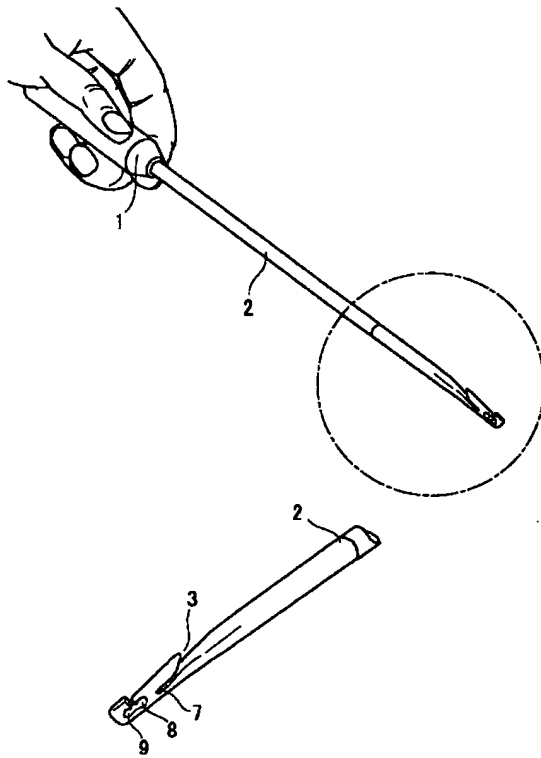
【図3】



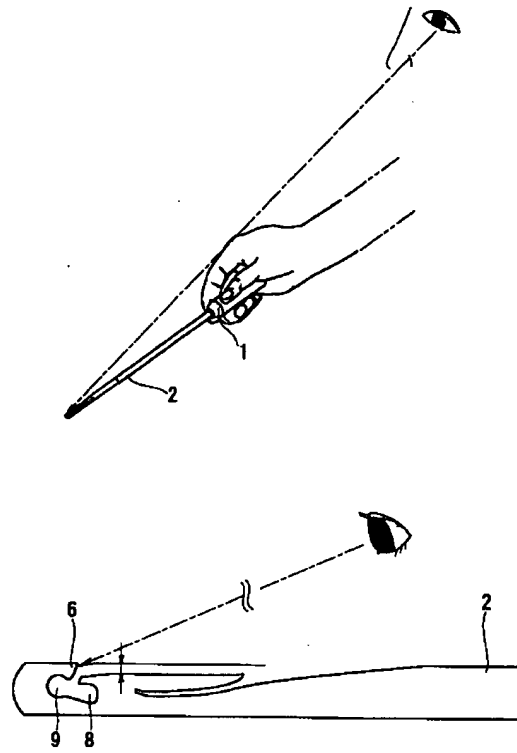
【図6】



【図4】



【図5】



DERWENT-ACC-NO: 2002-604706

DERWENT-WEEK: 200265

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Fishhook removal used in fishing, involves
forming slitting at end of pole and varying end side
pole cross-sectional size of opening with hand side
pole cross-sectional size to raise visibility of
opening

PATENT-ASSIGNEE: ENDO M[ENDO I] , TAKANO T[TAKAI]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0016073 (January 24, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2002218892 A	August 6, 2002	N/A
005 A01K 097/18		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2002218892A	N/A	2001JP-0016073
January 24, 2001		

INT-CL (IPC): **A01K097/18**

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2002218892A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The method involves forming a slitting (9) at the end of a pole (2), and varying the end side pole cross-sectional size of an opening (5) with the hand side pole cross-sectional size to raise visibility of the opening.

USE - Used in fishing.

ADVANTAGE - Ensures easy removal of fishhook at an easy posture.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure is a front elevation view showing the fishhook removal.

Pole 2

Opening 5

Slitting 9

CHOSEN-DRAWING: Dwg.3/6

TITLE-TERMS: REMOVE FISH FORMING SLIT END POLE VARY END SIDE POLE
CROSS SECTION

SIZE OPEN HAND SIDE POLE CROSS SECTION SIZE RAISE VISIBLE
OPEN

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-479734